

運用報告書（全体版）2022年6月期（2021年7月1日～2022年6月30日）

i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF  
iShares S&P/ASX Dividend Opportunities ETF

豪ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託  
オーストラリア籍法定トラスト

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2022年6月期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ファンド：

i シェアーズ・ドメスティック・エクイティ・ファンズ

## <ファンドの仕組み>

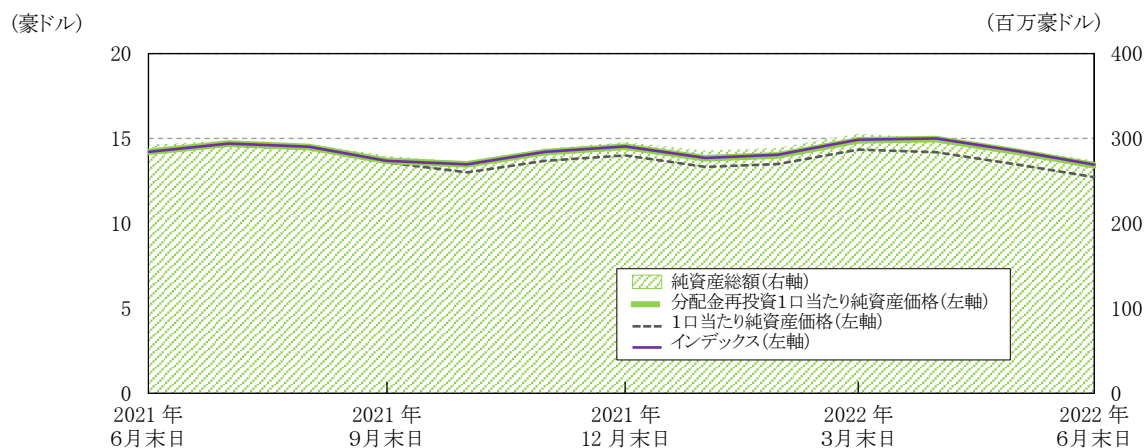
ファンド形態	豪ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 オーストラリア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	<p>ファンドは、手数料および費用控除前の S&amp;P/ASX ディビデンド・オポチュニティーズ・インデックス (S&amp;P/ASX Dividend Opportunities Total Return Index) (以下「インデックス」といいます。) の実績を投資家に提供することを目的としています。</p> <p>インデックスは、分散性、安定性、取引可能性の要件を満たしながら高い配当利回りを提供する、ASX 上場株式 50 銘柄の実績を測定するように構成されています。</p>
主要投資対象	ファンドは通常、インデックスを構成するオーストラリアの株式に投資します。
運用方法	<p>ファンドは、インデックスの実績に連動させることでファンドの目的を達成することを追求します。完全複製の投資戦略は、インデックスに関連するリスクが最小限となるため、インデックスの実績と連動させるための最も適切な投資戦略であると考えられます。完全複製アプローチは、通常、取引コストを考慮しながらインデックスにおけるすべての証券を購入することを目的としています。</p> <p>ファンドは通常、インデックスの予定されたリバランスに合わせてポートフォリオのリバランスを行います。ただし、ファンドは定期的に予定外のリバランスを行うことができます。</p>
投資制限	<p>ファンドは、リスクとリターンを管理するために、先物、先渡し、オプション、スワップ契約などのデリバティブを使用することができます。デリバティブのポジションを確立する際には、常に現金の保有および／または原資産による裏付けが行われます。デリバティブ証券は、ファンドの調整には使用されません。ファンドの店頭デリバティブへのエクスポージャー (店頭デリバティブに関連して保有する担保を除きます。) は、合計でファンドの純資産価額の 5% を超えることはない見込みです。</p> <p>ファンドの約款では、<b>BlackRock Investment Management (Australia) Limited</b> がファンドに代わってファンドのために借入れを行うことが認められていますが、特定のキャッシュフローを管理する手段として使用することのできる一時的な当座貸越を除き、ファンドが借入れを行うことは意図していません。</p> <p>ファンドは現在、ファンドのポートフォリオ内で保有する証券を貸し出すための証券貸付プログラムに参加していません。ファンドが証券貸付を開始する場合は、投資主にその旨を通知します。</p>
分配方針	ファンドは、通常、四半期ごとに、毎年 3 月、6 月、9 月、12 月の末日に決定された分配額の分配を行います。

	<p>ファンドは、<b>BlackRock Investment Management (Australia) Limited</b> が決定したその他の日に分配することができます。分配金（もしあれば）は、特定の期間におけるファンドの実現損失、実現利益（もしあれば）、収益および費用に基づいて、時間の経過とともに変化する可能性があります。分配金は保証されているものではなく、予想よりも分配金が多い期間または少ない期間がある可能性があります。また、分配金が支払われない期間がある可能性もあります。</p>
--	---

## I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移

### (1) 運用の経過

#### ① 1口当たり純資産価格の推移等



2021年6月末日現在の1口当たり純資産価格：	14.21 豪ドル
-------------------------	-----------

2022年6月末日現在の1口当たり純資産価格：	12.72 豪ドル
-------------------------	-----------

(1口当たり分配金額：	0.733724 豪ドル)
-------------	---------------

トータルリターン：	-5.58%
-----------	--------

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注3) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2021年6月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注4) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

(注5) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

## ② 分配金について

当期（2021年7月1日～2022年6月30日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：豪ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2021年7月1日	14.03	0.092922 (0.66%)	0.85
2021年10月8日	13.17	0.395467 (2.91%)	-0.47
2022年1月6日	13.81	0.023592 (0.17%)	0.66
2022年4月7日	14.04	0.221743 (1.56%)	0.45

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率 (%) =  $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 =  $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3) 2021年7月1日の直前の分配落日（2021年4月7日）における1口当たり純資産価格は、13.28豪ドルでした。

③ 1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

運用の総括および実績

ファンドは当年度において、ファンドの運営規約に記載されるとおり、またファンドの約款に定められた条項に準拠して、継続的に資産配分の目標方針と合致した投資を行いました。

実績

下記の表は、運用実績によるファンドのパフォーマンスを表示しています。

	2022年6月30日終了年度 千豪ドル	2021年6月30日終了年度 千豪ドル
当期利益／（損失）	(15,696)	53,268
支払分配金および未払分配金	15,321	11,517

リターン

下記の表は、トータル・リターンによるファンドのパフォーマンスを表示しています。

	リターン*		
	1年（年率、%）	3年（年率、%）	5年（年率、%）
iシェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETFの リターン	(5.58)	1.07	3.42

\* リターン（手数料控除後）は、すべての分配がファンドに再投資され、複利効果を含む前提で算定されています。

受益証券価格算定上の純資産価額から財務報告上の純資産価額への調整

受益証券価格算定上の純資産と、オーストラリア会計基準に準拠して作成される財務書類上で報告される受益者に帰属する純資産との主要な差異は、以下に記載されるとおりです。

	2022年6月30日現在 千豪ドル	2021年6月30日現在 千豪ドル
受益証券価格算定上の純資産	274,074	292,347
一時差異		
その他	26	-
6月30日現在の受益者に帰属する純資産	<u>274,100</u>	<u>292,347</u>

## 状況の重要な変化

取締役の意見では、当年度においてファンドの状況にその他の重要な変化は生じませんでした。

## 当年度の後発事象

ファンドは、2022年7月4日に、受益証券1口当たり28.78豪セントの最終分配金（6,203,497豪ドル相当）を宣言しました。最終分配金の分配落ち日は2022年7月1日であり、支払日は2022年7月13日でした。

財務書類で開示されているものを除き、2022年6月30日以降、以下の項目に重要な影響を及ぼしている、または重要な影響を及ぼす可能性があるその他の事象または状況は発生していません。

- (i) 将来の年度におけるファンドの運用
- (ii) 将来の年度におけるファンドの運用実績
- (iii) 将来の年度におけるファンドの状況

## 今後見込まれる進展および予想される運用実績

ファンドの運営規約に記載されるとおり、またファンドの約款に定められた条項に準拠して、ファンドは引き続き、投資目的およびガイドラインに準拠して運営される予定です。

ファンドの運用の実績は、ファンドが投資する投資市場のパフォーマンスを含め、さまざまな要因から影響を受けます。投資パフォーマンスは保証されるものではなく、将来のリターンは過去のリターンとは異なります。投資状況は時間の経過に伴い変化するため、将来のリターンを予測する際に過去のリターンを用いるべきではありません。

## 運用の経過

本項目は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。

## (2) 今後の運用方針

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

## (3) 費用の明細

項目	項目の概要	
管理報酬	平均日次純資産の年率 0.30%	ファンドへのサービス提供に対する対価
その他の費用	0.02%	取引費用、保管移転費用、支払利息



## Ⅱ. 運用実績

### ① 純資産の推移

	純資産総額		基準価額	
	(豪ドル)	(百万円)	(豪ドル)	(日本円)
2013年6月末日終了の会計年度	158,580,759	14,891	15.84	1,487
2014年6月末日終了の会計年度	237,260,212	22,279	16.79	1,576
2015年6月末日終了の会計年度	239,360,164	22,476	15.13	1,421
2016年6月末日終了の会計年度	233,608,446	21,936	12.85	1,207
2017年6月末日終了の会計年度	247,372,992	23,228	13.95	1,310
2018年6月末日終了の会計年度	256,477,417	24,083	14.03	1,317
2019年6月末日終了の会計年度	242,087,999	22,732	14.37	1,349
2020年6月末日終了の会計年度	279,495,533	26,245	12.19	1,145
2021年6月末日終了の会計年度	292,346,908	27,451	14.21	1,334
2022年6月末日終了の会計年度	274,074,404	25,736	12.72	1,194
2021年7月末日	297,489,431	27,934	14.59	1,370
2021年8月末日	293,499,576	27,560	14.40	1,352
2021年9月末日	279,673,585	26,261	13.59	1,276
2021年10月末日	271,981,012	25,539	12.99	1,220
2021年11月末日	287,693,060	27,014	13.68	1,285
2021年12月末日	295,649,567	27,761	13.99	1,314
2022年1月末日	285,457,137	26,804	13.32	1,251
2022年2月末日	288,894,887	27,127	13.48	1,266
2022年3月末日	305,820,822	28,717	14.34	1,346
2022年4月末日	300,017,241	28,172	14.18	1,332
2022年5月末日	287,779,229	27,022	13.48	1,265
2022年6月末日	274,074,404	25,736	12.72	1,194

- (注1) オーストラリアドル（以下「豪ドル」という。）の円換算は、2022年6月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1豪ドル=93.90円）によります。以下同じです。
- (注2) 純資産の推移では市場価格ベースで算定した数値が表示されるのに対し、後記「Ⅲ. 純資産額計算表」では財務諸表と同じく国際財務報告基準に基づく公正価格ベースで算定した数値が表示されているなどの理由により、表示されている純資産価額に差異があります。
- (注3) 純資産総額および基準価額は、Aladdin®システムから抽出したデータに基づく数値です。

② 分配の推移

	一口当たり分配金	
	(豪ドル)	(日本円)
2013年6月末日終了の会計年度	0.758138	71
2014年6月末日終了の会計年度	0.719056	68
2015年6月末日終了の会計年度	1.872660	176
2016年6月末日終了の会計年度	0.841324	79
2017年6月末日終了の会計年度	0.742040	70
2018年6月末日終了の会計年度	0.689531	65
2019年6月末日終了の会計年度	0.764110	72
2020年6月末日終了の会計年度	0.754558	71
2021年6月末日終了の会計年度	0.552131	52
2022年6月末日終了の会計年度	0.733724	69
2021年7月	0.092922	9
2021年10月	0.395467	37
2022年1月	0.023592	2
2022年4月	0.221743	21

③ 投資資産（2022年6月末日現在）

後記「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

### Ⅲ. 純資産計算書

2022年6月末日現在

		(千豪ドル)	(千円)
a	資産総額	274,974	25,820,059
b	負債総額	874	82,069
c	純資産総額 (a-b)	274,100	25,737,990
d	発行済口数	21,554,000口	
e	基準価額 (c/d)	12.72豪ドル	1,194円

#### IV. 投資有価証券の主な銘柄

本項目は、ファンドの年次報告書その他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。

## V. ファンドの経理状況

### i シェアーズ・ドメスティック・エクイティ・ファンズの受益者への 独立監査人の監査報告書

#### 監査意見

我々は、i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF（以下「ファンド」という。）の財務報告書の監査を行った。財務報告書は、2022年6月30日現在の財政状態計算書、損益およびその他の包括利益計算書、持分変動計算書、当該終了年度キャッシュ・フロー計算書、財務書類に対する注記（重要な会計方針の要約を含む。）およびその他の説明情報ならびに取締役の宣言から構成されている。

我々の意見では、ファンドの添付の財務報告書は、2001年会社法に準拠しており、

- (i) 2022年6月30日現在のファンドの財政状態および同日に終了した年度における財務実績について真実かつ公正な見解を表示しており、
  - (ii) オーストラリア監査基準および2001年会社規則に適合していること、
- を含む。

#### 監査意見の根拠

我々は、オーストラリア監査基準に準拠して監査を行った。かかる基準における我々の責任は、本報告書の「財務諸表監査における監査人の責任」の項に記載されている。

我々は、2001年会社法の監査人独立性要求事項ならびにオーストラリアにおける財務報告書監査に関連する職業会計士倫理基準審議会(Accounting Professional and Ethical Standards Board)の「APES 110 職業会計士の倫理規程」(Code of Ethics for Professional Accountants)（独立性基準 (Independence Standards) を含む。）（以下「倫理規程」という。）の職業倫理に関する倫理要件に従って、ファンドから独立しており、また、これらの規定に従って、その他の倫理上の責任を果たしている。

我々は、BlackRock Investment Management (Australia) Limited（「責任事業体」）の取締役に与えられている2001年会社法により要求される独立性宣言は、本監査報告書の報告時点の取締役に与えられた場合と同じ条件であることを確認する。

我々は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、当会計年度の財務報告書監査において我々の職業的専門家としての判断によって特に重要であると決定された事項をいう。監査上の主要な検討事項は、財務報告書全体に対する監査の観点から、監査意見を形成する過程で検討されており、我々は、当該事項に対して個別の意見を表明するものではない。

監査上の主要な検討事項	我々の監査範囲が監査上の主要な検討事項にどのように対応しているか
<p><b>純損益を通じて公正価値で保有されている金融資産および金融負債の評価</b></p> <p>金融資産と金融負債は、財政状態計算書の中でも最も重要なバランスを表しており、純資産価格と投資実績の主要な推進力である。</p> <p>注記7および9を参照</p> <p>ファンド名： i シェアーズ S&amp;P/ASX 好配当株式 ETF</p> <p>2022年6月30日現在の金融資産（百万豪ドル）： 267.95</p> <p>2022年6月30日現在の金融負債（百万豪ドル）： 0.01</p>	<p>我々の手順には以下が含まれるが、これらに限定されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－金融資産の評価に関連して、記載されている例外を含め、管理者に実施されている関連するコントロールを評価</li> <li>－サンプルベースで、独立した外部プライシングソースに最後に取引された市場価格を確認することにより、上場ユニットトラスト、先物および株式を評価</li> </ul> <p>また、注記7および9に含まれる開示の適切性を評価した。</p>

### その他の記載内容

ファンドの責任事業体の取締役（以下「取締役」という。）は、その他の記載内容に対して責任を有している。その他の記載内容とは、ファンドの2022年6月30日に終了した年度の年次報告書に含まれる情報のうち、財務報告書およびそれに関する我々の監査報告書以外の情報をいう。

財務報告書に関する我々の意見の対象範囲には、その他の記載内容は含まれておらず、我々は、当該その他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明しない。

財務報告書における我々の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務報告書または我々が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか考慮すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽記載の兆候があるかどうか留意することにある。我々は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な虚偽記載があると判断した場合には、当該事実を報告することが求められている。我々は、その他の記載内容に関して報告すべき事項はない。

### 財務報告書に対する取締役の責任

取締役は、オーストラリア監査基準および2001年会社法に準拠して真実かつ公正な見解を示す財務報告書を作成すること、および真実かつ公正な見解を示し不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務報告書を作成するために取締役が必要と判断した内部統制を整備する責任を有している。

財務諸表を作成するにあたり、取締役は、ファンドが継続企業として存続する能力を評

価し、継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任を有すること、また、取締役がファンドの清算もしくは運用停止の意図があるか、またはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除いて、継続企業の前提を用いることについて責任を負う。

### 財務報告書監査における監査人の責任

我々の監査の目的は、全体としての財務諸表に、不正または誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、監査意見を記載した監査報告書を発行することにある。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、オーストラリア監査基準に準拠して行った監査が、重要な虚偽表示が存在する場合にこれを常に発見することを保証するものではない。虚偽表示は、不正または誤謬から発生する可能性があり、個別にまたは集計すると、当該財務諸表の利用者の経済的な意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

オーストラリア監査基準に準拠して実施する監査の一環として、我々は、かかる監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持し、また、以下を行う。

- ・ 不正または誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続を立案、実施し、監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書偽造、意図的な除外、虚偽の陳述または内部統制の無効化を伴うことがあるためである。
- ・ 状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、ファンドの内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・ 取締役が採用した会計方針の適切性、ならびに取締役によって行われた会計上の見積りの合理性および関連する開示の妥当性を評価する。
- ・ 取締役が継続企業を前提とすることが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、ファンドが継続企業として存続する能力に重要な疑義を生じさせるような事象または状況に関して重要な不確実性が認められるかどうかを結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務報告書の関連する開示に注意を喚起すること、または重要な不確実性に関する財務報告書の開示が適切でない場合は、監査意見を修正することが求められている。我々の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 関連する開示を含めた全体としての財務報告書の表示、構成および内容を検討し、

財務報告書が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

我々は、取締役に対して、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、および監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項について報告を行っている。

また、我々は、取締役に対して、独立性についての関連する職業倫理に関する規定を遵守したこと、ならびに我々の独立性に影響を与えると合理的に考えられるすべての関係およびその他の事項、また該当する場合には、適用された脅威を排除するためにとられた措置およびセーフガードについて報告を行う。

我々は、取締役に報告した事項のうち、当年度の財務報告書監査で特に重要な事項を、監査上の主要な検討事項と決定する。我々は、これらの事項を監査報告書において記載する。ただし、法令等により当該事項の公表が禁止されている場合や、極めてまれではあるが、監査報告書において報告することにより生じる不利益が公共の利益を上回ると合理的に見込まれるため、我々が報告すべきでないと判断した場合は、当該事項を記載しない。

デロイト トウシュ トーマツ

ネイル・ブラウン

パートナーおよび勅許会計士

メルボルン、2022年9月21日



i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF  
 損益およびその他の包括利益計算書  
 2022年6月30日終了年度

	注記	2022年6月30日終了年度		2021年6月30日終了年度	
		千豪ドル	千円	千豪ドル	千円
<b>投資収益</b>					
受取配当金／受取分配金		20,300	1,906,170	12,479	1,171,778
損益を通じて公正価値で保有される金融商品に係る純利益／（損失）（為替差益／（損）を含む）	4	(35,074)	(3,293,449)	41,705	3,916,100
その他の収益		5	470	5	470
<b>投資純収益／（損失）合計</b>		<b>(14,769)</b>	<b>(1,386,809)</b>	<b>54,189</b>	<b>5,088,347</b>
<b>費用</b>					
管理報酬	11	869	81,599	819	76,904
取引費用		35	3,287	84	7,888
保管移動費用		22	2,066	17	1,596
支払利息		1	94	1	94
<b>運用費用合計</b>		<b>927</b>	<b>87,045</b>	<b>921</b>	<b>86,482</b>
<b>当期利益／（損失）</b>		<b>(15,696)</b>	<b>(1,473,854)</b>	<b>53,268</b>	<b>5,001,865</b>
その他の包括利益		-	-	-	-
<b>当期包括利益／（損失）合計</b>		<b>(15,696)</b>	<b>(1,473,854)</b>	<b>53,268</b>	<b>5,001,865</b>

上記の損益およびその他の包括利益計算書は、後述の注記と併せてご参照ください。

**財政状態計算書**  
2022年6月30日現在

	注記	2022年6月30日現在		2021年6月30日現在	
		千豪ドル	千円	千豪ドル	千円
<b>資産</b>					
現金および現金同等物	13(b)	768	72,115	1,378	129,394
損益を通じて公正価値で保有される金融資産	7	267,949	25,160,411	290,079	27,238,418
現金担保		43	4,038	99	9,296
未収金	8	6,214	583,495	938	88,078
<b>資産合計</b>		<b>274,974</b>	<b>25,820,059</b>	<b>292,494</b>	<b>27,465,187</b>
<b>負債</b>					
損益を通じて公正価値で保有される金融負債	9	10	939	-	-
未払金	10	864	81,130	147	13,803
<b>負債合計</b>		<b>874</b>	<b>82,069</b>	<b>147</b>	<b>13,803</b>
<b>受益者に帰属する純資産—資本</b>	6	<b>274,100</b>	<b>25,737,990</b>	<b>292,347</b>	<b>27,451,383</b>

上記の財政状態計算書は、後述の注記と併せてご参照ください。

**持分変動計算書**  
2022年6月30日終了年度

	注記	2022年6月30日終了年度		2021年6月30日終了年度	
		千豪ドル	千円	千豪ドル	千円
<b>期首現在の資本合計</b>		292,347	27,451,383	279,496	26,244,674
<b>当期包括利益</b>					
当期利益／（損失）		(15,696)	(1,473,854)	53,268	5,001,865
その他の包括利益		-	-	-	-
<b>当期包括利益合計</b>		<b>(15,696)</b>	<b>(1,473,854)</b>	<b>53,268</b>	<b>5,001,865</b>
<b>受益者との取引</b>					
設定	6	20,326	1,908,611	8,097	760,308
解約	6	(8,595)	(807,071)	(37,725)	(3,542,378)
分配金の再投資に伴う発行済受益証券	6	1,039	97,562	728	68,359
支払分配金および未払分配金	5	(15,321)	(1,438,642)	(11,517)	(1,081,446)
<b>受益者との取引合計</b>		<b>(2,551)</b>	<b>(239,539)</b>	<b>(40,417)</b>	<b>(3,795,156)</b>
<b>期末現在の資本合計</b>		<b>274,100</b>	<b>25,737,990</b>	<b>292,347</b>	<b>27,451,383</b>

上記の持分変動計算書は、後述の注記と併せてご参照ください。

**キャッシュ・フロー計算書**  
2022年6月30日終了年度

	注記	2022年6月30日終了年度		2021年6月30日終了年度	
		千豪ドル	千円	千豪ドル	千円
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>					
損益を通じて公正価値で保有される金融商品の売却による収入		91,881	8,627,626	247,056	23,198,558
損益を通じて公正価値で保有される金融商品の購入		(109,308)	(10,264,021)	(217,538)	(20,426,818)
取引費用		(35)	(3,287)	(84)	(7,888)
配当金／分配金受取額		20,291	1,905,325	12,493	1,173,093
その他の収益受取額		5	470	5	470
管理報酬支払額		(868)	(81,505)	(812)	(76,247)
運用費用支払額		(24)	(2,254)	(22)	(2,066)
利息支払額		(1)	(94)	(1)	(94)
<b>営業活動による正味キャッシュ・インフロー／(アウトフロー)</b>	13(a)	<b>1,941</b>	<b>182,260</b>	<b>41,097</b>	<b>3,859,008</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>					
受益者からの設定による収入		20,326	1,908,611	8,097	760,308
受益者からの解約による支払額		(8,595)	(807,071)	(37,725)	(3,542,378)
分配金の支払		(14,282)	(1,341,080)	(10,789)	(1,013,087)
<b>財務活動による正味キャッシュ・インフロー／(アウトフロー)</b>		<b>(2,551)</b>	<b>(239,539)</b>	<b>(40,417)</b>	<b>(3,795,156)</b>
<b>現金および現金同等物の純増加／(減少)額</b>		<b>(610)</b>	<b>(57,279)</b>	<b>680</b>	<b>63,852</b>
現金および現金同等物の期首残高		1,378	129,394	698	65,542
<b>現金および現金同等物の期末残高</b>	13(b)	<b>768</b>	<b>72,115</b>	<b>1,378</b>	<b>129,394</b>
非資金的財務活動	13(c)	1,039	97,562	728	68,359

上記のキャッシュ・フロー計算書は、後述の注記と併せてご参照ください。

## 財務書類に対する注記 2022年6月30日終了年度

### 1. 一般的情報

当財務書類は、個別の事業体として、i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF（以下「ファンド」）を対象としています。ファンドは2010年8月26日に設立されました。ファンドは、ファンドの約款条項に従って終了しない限り、ファンド開始日から80年後の応当日に終了する予定です。

ファンドの責任事業体は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント（オーストラリア）リミテッド（以下「責任事業体」）です。責任事業体の登録事務所は、オーストラリア、郵便番号2000、ニュー サウスウェールズ州シドニー市チフリー・スクエア2、チフリー・タワー・レベル37にあります。

当財務書類は、2022年9月21日に取締役により発行が承認されました。責任事業体の取締役は、当財務書類の修正および再発行を行う権限を有しています。

当財務書類は、豪ドルで表示されています。

### 2. 重要な会計方針の要約

当財務書類の作成上適用された主要な会計方針は以下の通りです。これらの方針は、以下に別途記載がある場合を除き、すべての年度にわたり一貫して適用されています。

#### (a) 準拠表明および作成基準

当財務書類は一般目的の財務書類であり、オーストラリア会計基準およびオーストラリア会計基準審議会が公表するその他の権威ある公式見解ならびにオーストラリアの2001年会社法に準拠して作成されています。財務書類作成の目的上、ファンドは営利ユニット・トラストです。

当財務書類は、損益を通じて公正価値で保有される金融資産および金融負債（これらは公正価値で測定されます）を除き、取得原価法で作成されています。

財政状態計算書は、流動性基準で表示されています。資産および負債は、流動性が高い順に表示されており、短期と長期の区別は行われていません。損益を通じて公正価値で評価される金融資産に対する投資および受益者に帰属する純資産を除き、すべての残高は12ヵ月以内に回収または決済される見込みです。各報告期間末から12ヵ月以内に回収または決済が予想されている金額は、信頼性をもって算定することができません。

##### (i) 国際財務報告基準への準拠

ファンドの財務書類は、国際会計基準審議会が公表する国際財務報告基準（以下「IFRS」）にも準拠しています。

##### (ii) ファンドが適用する新基準および修正基準

2021年7月1日に開始する年度に初めて発効し、当該ファンドに重要な影響を与えると見込まれる基準、解釈指針または既存の基準に対する修正はありませんでした。

#### (b) 金融商品

##### (i) 分類

ファンドの投資は、損益を通じて公正価値で測定するものに分類され、以下に分類されます。

- ・ 先物、為替予約取引、オプションおよびスワップ等のデリバティブ金融商品。ファンドは、ヘッジ関係においてデリバティブをヘッジとして指定していません。
- ・ 上場株式、上場ユニット・トラスト、非上場ユニット・トラスト、利付証券および金融市場証券に対する投資

損益を通じて公正価値で保有される金融資産および金融負債は、ファンドの文書化された投資戦略に従って管理され、公正価値基準で運用実績が評価されます。ファンドの方針では、責任事業体がこれらの金融商品に関する情報をその他の関連する金融情報とあわせて公正価値基準で評価します。

空売りは、損益を通じて公正価値で測定する金融負債に分類されます。空売りとは、借り入れた有価証券の市場価額の下落が予想されるなかで当該証券を売却することで、様々な裁定取引のためになされ、あるいは裁定取引に使用されます。

#### (ii) 認識／認識の中止

ファンドは契約の当事者になった日（取引日）に金融資産および金融負債を認識し、当該日から金融資産および金融負債の公正価値の変動を認識します。

投資は、当該投資からのキャッシュ・フローを受取る権利が終了した時、またはファンドが実質的にすべての所有に関するリスクと便益を移転した時に、認識が中止されます。

#### (iii) 測定

損益を通じて公正価値で保有される金融資産および負債

損益を通じて公正価値で保有される金融資産および負債は、その取得または発行に直接帰属する取引費用を除く公正価値で当初測定されます。損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債の取引費用は、直ちに費用計上されます。当初認識後、損益を通じて公正価値で保有されるすべての金融商品は公正価値で測定され、その公正価値の変動は損益およびその他の包括利益計算書で認識されます。

##### ・ 活発な市場における公正価値

活発な市場で取引される金融資産および負債の公正価値は、報告期間末日現在の市場価格（将来の見積売却費用を控除しない）を基準とします。ファンドが保有する金融資産および金融負債に使用される市場価格は最終取引価格です。

##### ・ 活発でない市場または非上場における公正価値

活発な市場で取引されていない金融資産および負債の公正価値は、評価技法を用いて決定されます。これらには、直近の独立企業間市場取引の利用、実質的に類似する商品の現在の公正価値を参照すること、ディスカウント・キャッシュ・フロー技法、オプション・プライシング・モデル、または実際の市場取引で入手する価格の信頼性の高い見積を提供するその他の評価技法が含まれます。

したがって、当初認識時の公正価値と評価技法を用いて決定された金額との間に差額が生じることがあります。当該差額が存在する場合、ファンドは、価格設定に際し市場参加者が検討するであろう、時期を含む要因における変動を反映するため、損益およびその他の包括利益計算書でその差額を認識します。

その他の非上場のユニット・トラストに対する投資は、当該ファンドの責任事業体により報告された基準価額で計上されます。

### (c) 金融商品の相殺

金融資産および金融負債は、総額ベースで財政状態計算書に計上されます。認識された金額を相殺する法的拘束力のある権利が存在し、純額ベースで決済するまたは資産の認識および負債の決済をデフォルトでまたは通常の業務において同時に行う意図がある場合には、金融資産および負債は相殺され、純額ベースで財務書類の注記に報告されます。

### (d) 受益者に帰属する純資産

受益証券は受益者の選択により解約可能ですが、受益者の最善の利益に資する場合、責任事業体は設定および解約を停止することができます。

受益証券は、解約価格（ファンドの受益者に帰属する純資産価額の比例持分に相当します）に基づき現金にて、いつでもファンドに差し戻すことが可能です。

保有者が受益証券をファンドに差し戻す権利を行使した場合、受益証券は、貸借対照表日に支払うべき解約金額で計上されます。この金額は、これらの受益証券の解約時の予想キャッシュ・フローを表しています。

受益証券は、AASB 第 132 号「金融商品：表示」に基づく以下の基準を満たす場合に、資本に分類されます。

- ・ ファンドが清算された場合、プッタブル金融商品の所有者は、純資産の比例持分を受け取る権利を有していること
- ・ 金融商品のクラスは、その他すべての金融商品のクラスに劣後しており、かつクラスの特徴が同一であること
- ・ プッタブル金融商品には、ファンドに潜在的に不利な条件で現金または他の金融資産を引き渡す、もしくはその他の事業体と金融商品を解約するいかなる契約上の義務も含まれておらず、またファンド自身の資本性金融商品で決済される契約ではないこと
- ・ 残存期間にわたるプッタブル金融商品に帰属する予想キャッシュ・フローの合計が、実質的に損益に基づいていること

ファンドの受益証券は、上記の基準をすべて満たすため資本に分類されています。

### (e) 現金および現金同等物

現金および現金同等物は、手許現金、金融機関即時引出可能預金、その他の短期で流動性が高く、かつ当初の満期が3ヵ月以内で既定額の現金に容易に換金可能で価値の変動の重要なリスクがない投資対象、ならびに当座借越が含まれます。当座借越と現金がいずれも存在する場合は、財政状態計算書で相殺されます。

投資有価証券の購入および売却に関する支払いおよび受取りは、当該証券の公正価値の変動がファンドの主要な収益獲得活動を表すため、営業活動によるキャッシュ・フローに分類されます。

### (f) 証拠金勘定

証拠金勘定は、デリバティブ取引および空売りで保有される現金から構成されます。現金は、ブローカーにより保有され、証拠金の支払い要求に応じるためだけに利用可能です。デリバティブ取引の当初満期が3ヵ月以内である非制限証拠金勘定残高および制限付証拠金勘定残高は、現金および現金同等物として分類されます。デリバティブ取引の当初満期が3ヵ月超である制限付証拠金勘定は、現金担保として分類されます。



### (g) 投資収益および費用

受取利息および支払利息は、すべての利付証券に対し実効金利法を用いて損益およびその他の包括利益計算書で認識されます。損益を通じて公正価値で保有される資産に係る利息は、金融商品に係る純利益／（損失）に含まれています。当該商品の公正価値におけるその他の変動は、注記2(b)で記載される方針に準じて計上されます。

実効金利法とは、金融資産または金融負債の償却原価を計算し、関係する期間に受取利息または支払利息を配分する方法です。実効金利とは、当該金融商品の予想残存期間（場合によっては、より短い期間）を通じた、将来の現金支払額または受取額の見積額を、当該金融資産または負債の正味帳簿価額まで正確に割り引く利率をいいます。実効金利を計算する際には、ファンドは当該金融商品のすべての契約条件（例えば、早期解約のオプション）を考慮してキャッシュ・フローを見積りますが、将来の貸倒損失について考慮しません。

その計算には、実効金利の不可分の一部である契約当事者間で授受されるすべての手数料とポイント、取引費用、ならびにその他のすべてのプレミアムまたはディスカウントを含めます。

受取配当金は、配当落ち日に認識されます。ファンドは、投資収益に係る一部の国々により課された源泉徴収税が発生する可能性があります。かかる収益は、損益およびその他の包括利益計算書に源泉徴収税控除後の純額で計上されます。外国源泉徴収税の一部が還付可能である場合、当該金額は資産として計上されます。

トラスト分配金は、権利基準で認識されます。

空売り証券に係る配当金は、配当落ち日に配当金費用として計上されます。

### (h) 費用

管理報酬を含むすべての費用は、発生主義で損益およびその他の包括利益計算書に認識されます。

### (i) 所得税

現行法の下では、ファンドは、ファンドの課税所得が現金または再投資のいずれかの方法で帰属させた場合、所得税の対象となりません（すなわち、受益者はファンドの収益を請求する権利があります）。

インプテーション・クレジット控除および支払外国税の優遇措置は、受益者に還元されます。

### (j) 受益者への分配金

ファンドの約款に従い、ファンドは、課税所得および責任事業体により決定されたその他の金額を、現金または再投資により受益者に帰属させます。分配金は、支払分配金および未払分配金として持分変動計算書で認識されます。

### (k) 受益者に帰属する純資産の増加／減少

受益者に帰属する純資産の変動は、2022年6月30日終了年度における持分変動計算書で認識されます。



## (1) 外貨換算

### (i) 機能および表示通貨

ファンドの財務書類項目は、事業活動が行われている主要な経済環境における通貨（以下「機能通貨」）を用いて測定されます。それは豪ドルで、ファンドが利益競争し、規制を受けている経済における通貨を反映しています。また豪ドルは、ファンドの表示通貨でもあります。

### (ii) 取引および残高

外貨建取引は取引日の実勢為替レートを用いて機能通貨に換算されます。かかる取引の決済ならびに外貨建貨幣性資産および負債の報告期間末日為替レートでの換算から生じる為替差損益は、損益およびその他の包括利益計算書で認識されます。

ファンドは、外国為替レートの変動による有価証券およびデリバティブ金融商品に係る損益の部分を、有価証券の市場価格の変動による変動と区分していません。かかる変動は、損益を通じて公正価値で測定する金融商品に係る純損益の項目に含まれています。

外貨により公正価値で測定された非貨幣項目は、公正価値が決定された当該日の為替レートを使用して換算されます。公正価値で計上された資産および負債の換算差額は、公正価値損益の一部として計上されます。

## (m) 未収金

未収金には、配当金、利息、トラスト分配金、ブローカーに対する債権および設定に係る未収金が含まれていることがあります。配当金およびトラスト分配金は、支払いを受け取る権利が確立された時点で未収計上されます。利息は、実効金利法を用いて最終支払日から起算して報告期間末日に未収計上されます。ブローカーに対する債権は、報告期間末日までに約定済みで未引渡しとなっている有価証券に係る未収金を示しています。設定に係る未収金は、ファンドにおいて受益証券の設定があり、報告期間末日現在で対価の回収がなされていない場合に計上されます。

売掛債権の回収可能性は継続的に見直しされます。回収不能とされる貸倒は、予想信用損失モデルを用いて直接帳簿価額を減額することにより償却され、引当金勘定（売掛債権の減損引当金）が計上されます。過去の実績、債務者の財政状態が悪化している場合、債務者が破産または財務再編成となる可能性、および（30日超期日を経過した）支払いの債務不履行または滞納が考慮されます。また、減損が予想される売掛債権に関する予想損失を決定する際には、将来予測指標が考慮されます。当該減損引当金の金額は、資産の帳簿価額と将来のキャッシュ・フロー見積り額を当初の実効金利で割り引いた現在価値との差額です。短期未収金に関するキャッシュ・フローは、割引の影響が重要でない場合は割引されません。

減損損失の金額は、損益およびその他の包括利益計算書のその他の費用で認識されます。減損引当金が認識された売掛債権が、翌期以降に回収不能となる場合、当該金額は、引当金勘定で償却されます。過去に償却されその後回収された金額は、損益およびその他の包括利益計算書でその他の費用に貸方計上されます。

## (n) 未払金

未払金は、報告期間末日現在でファンドが支払っていない負債および未払費用ならびに解約に係る未払金を含みます。

取引は、取引日に計上され、通常3営業日以内に決済されます。報告日現在、未決済の金融商品の購入額は、未払金に含まれます。解約に係る未払金は、受益証券に関連するこれまでのすべての権利を含め、受益者がファンドに受益証券の戻し入れを行い、その支払いが未だなされていない場合に認識されます。

受益者がファンドの約款に基づき分配可能収益を請求する権利がある場合、報告日現在の受益者に対する未払分配金額は、財政状態計算書で個別に認識されます。

#### (o) 設定および解約

ファンド受益証券の申込金は、ファンド受益証券の発行前に未払登録手数料を控除した純額で計上されます。ファンドの解約は、買い戻した受益証券の取消後に未払解約手数料を加算した総額で計上されます。

受益証券の解約価格は、ファンドの受益証券価格の算定目的のため、純資産を各営業日の終了時または終了直前の発行受益証券口数で除したものを参考として決定されます。受益証券の設定および解約は、同時に処理されます。

#### (p) 消費税 (Goods and Services Tax: GST)

第三者によりファンドに対して提供されたさまざまなサービス費用（保管サービスおよび運用報酬等）について発生した GST は、ファンドに課されます。ファンドは、減額仕入税額控除 (Reduced Input Tax Credits: RITC) の資格を有しているため、運用報酬、保管報酬およびその他の費用は、オーストラリア税務当局 (ATO) から還付可能な GST の金額控除後の純額が損益およびその他の包括利益計算書に認識されます。未払金および未払費用には、GST が含まれています。ATO から還付可能な GST 純額は、財政状態計算書で未収金に含まれます。GST に関連するキャッシュ・フローは、総額ベースでキャッシュ・フロー計算書に含まれます。

#### (q) 新しい会計基準および解釈指針

まだ発効していない、かつ将来の報告期間におけるファンドならびに予測可能な将来の取引に重要な影響を及ぼす可能性のある基準はありません。

#### (r) 見積の使用および重要な会計上の判断

ファンドは貸借対照表日の資産および負債の報告額に影響を与える見積および仮定を行います。見積は継続的に評価され、過去の経験、および状況に照らして合理的と考えられる将来の事象の予測を含むその他の要因に基づいています。

ファンドの金融商品のほとんどは、容易に市場価格を入手できます。ただし、店頭デリバティブまたは非上場証券等の一部の金融商品は評価技法を用いて公正価値評価されます。公正価値を決定するために評価技法（例えば、価格モデル）が利用される場合、評価技法の策定から独立した責任事業体の経験豊富な者により、検証され、見直しされます。モデルは、アウトプットが信頼できるものか確かめるために実際の取引に対するバック・テストにより検証されます。

モデルは、実務上可能な範囲で観測可能なデータを使用します。しかし、信用リスク（ファンド自体および取引相手方の両方）、ボラティリティおよび相関関係等の領域では、マネジメントに見積りを行うことを要求しています。これらの要因の仮定における変化は、金融商品の公正価値報告額に影響を与える可能性があります。

ブローカーに対する債権および債務ならびに未払金を含む一部のその他の金融商品に関しては、当該金融商品が即時的または短期的な性質を有することから、帳簿価額は公正価値に近似しています。

#### (s) 金額の端数処理

ファンドは、取締役報告書および財務書類の金額の四捨五入に関して、オーストラリア証券投資委員会通達 ASIC 会社法（財務／取締役報告書における端数処理）法律文書 2016/191 に記載される登録スキームです。

取締役報告書および財務書類の金額は、特に明記されていない限り、ASIC 会社法（財務／取締役報告書における端数処理）法律文書 2016/191 に基づき百の位で四捨五入されています。

#### (t) 現金担保

現金担保には、デリバティブ取引の当初満期が3ヵ月超である制限付証拠金勘定ならびに空売りの制限付現金が含まれます。ショート・ポジションは、相対的に期待値が低いリターンの証券に用いられます。決済を円滑にするため、証券は担保要件付で借入れされます。これらの要件は、現金および／またはその他の証券で満たされます。担保要件を満たすために利用される現金は、現金担保として財政状態計算書で開示されません。

### 3. 金融リスク管理

ファンドは活動を通じてさまざまな金融リスクに対するエクスポージャーを有しています。すなわち信用リスク、流動性リスクおよび市場リスク（価格リスク、通貨リスクおよび金利リスクを含む）です。ファンドの全体的なリスク管理プログラムは、ファンドの金融商品開示文書への確実な準拠に重点を置いており、ファンドがさらされているリスク水準に対して得られるリターンの最大化を追求します。ファンドは特定のリスク・エクスポージャーを抑制および設定するために金融デリバティブ商品を利用することがあります。金融リスク管理は、責任事業体の取締役会（以下「取締役会」）により承認された方針のもと、投資リスク管理作業部会（以下「IRMWG」）により実行されます。

ファンドは、ファンドがさらされている異なるタイプのリスクを測定するためにさまざまな方法を用います。これらの方法には、金利リスク、為替リスクおよびその他の価格リスクにはバリュー・アット・リスク（以下「VaR」）分析、また信用リスクには格付分析などがあります。VaR 分析は注記 3(b) に説明されています。

#### (a) 市場リスク

責任事業体は、ポートフォリオ毎に市場リスクを管理・監視しています。リスクは、定期的にレビューされて更新されるファンドの投資モデルに従って投資活動が行われていることの確認を通じて管理されます。

##### (i) 価格リスク

ファンドは価格リスクに対するエクスポージャーを有しています。これは、ファンドが保有している投資の将来の価格が不確定であることによって生じます。これらは、財政状態計算書上、損益を通じて測定する公正価値に区分されています。非貨幣性の金融商品が豪ドル以外の通貨建てである場合、為替レートの変動によって将来の価格も変動することになります。以下の注記3(a)(ii)に、価格リスクの構成要素の管理方法および測定方法が記載されています。すべての有価証券投資は、資本の毀損リスクを表します。株式の空売りおよびデリバティブ商品を除いては、金融商品によって生じるリスクの最大値は、金融商品の公正価値で決定されます。株式の空売りによる潜在的な損失は無限となる可能性があります。戦争、テロ行為、感染症の拡大またはその他の公衆衛生上の問題、景気後退あるいはその他の事象などの現地、地域または世界的な事象は、ファンドおよびその投資に重要な影響を与え、ファンドの純資産価額に対するプレミアムまたはディスカウントの増加につながる可能性があります。

責任事業体はファンドの保有高を最適なポートフォリオと比較して、ファンドのエクスポージャーが定められた範囲または資産配分の制限内に確実に留まるよう、リスク管理に利用されるデリバティブ・ポジションを考慮しながら、継続的に監視しています。

さらに、IRMWG は、ファンドが適切な投資モデルに従っているか、当該ポートフォリオが規定ガイドラインおよび制限に準拠しているか、ならびにファンドのパフォーマンスが期待される範囲内に留まっているかどうかを検証するために、ファンドを定期的にレビューします。

注記 3(b) の VaR 分析の要約では、どのような方法でリスクが測定されるかについて説明し、受益者に帰属するファンドの純資産に対する潜在的なエクスポージャーについて要約しています。

報告日現在、ファンドが保有する金融デリバティブ商品の想定元本は以下の通りです。

	2022年6月30日現在				2021年6月30日現在			
	千豪ドル				千豪ドル			
	資産	負債	純額	公正価値	資産	負債	純額	公正価値
先物ー国内	485	-	485	(10)	361	-	361	-

### (ii) 為替リスク

i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF が保有する直接投資は、為替リスクに対する直接的なエクスポージャーを有していません。投資対象資産を通じて間接的に保有する投資については、ルックスルー方式での開示を行っていません。

注記3(b)の VaR 分析の要約では、どのような方法でリスクが測定されるかについて説明し、受益者に帰属するファンドの純資産に対する潜在的なエクスポージャーについて要約しています。

### (iii) 金利リスク

ファンドの金融資産および負債のほとんどは、無金利です。そのため、ファンドには一般的な市場金利の変動に係る著しいリスクはありません。

キャッシュ・フロー金利リスクに対するファンドのエクスポージャーは、変動金利が付される投資の現金および現金同等物ならびに現金担保勘定に限定されています。2022年6月30日現在のファンドの現金および証拠金勘定への投資総額は以下の表に記載されています。

	2022年6月30日現在	2021年6月30日現在
	豪ドル	豪ドル
i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF	810,966	1,476,379

金利リスクは、資産運用委託、総合的な投資戦略や、承認された限度額を遵守した投資活動を確実にすることで緩和されます。

注記3(b)の VaR 分析の要約では、どのような方法でリスクが測定されるかについて説明し、受益者に帰属するファンドの純資産に対する潜在的なエクスポージャーについて要約しています。

投資対象ファンドを通じて間接的に保有する投資については、ファンドはルックスルー方式での開示を行っていません。投資対象ファンドが金利リスクに対して重大なエクスポージャーを有する場合、金利リスクの開示は、ファンドの正確な金利リスク・プロファイルを表示できないことがあります。

## (b) VaR 分析の要約

バリュー・アット・リスク (VaR) とは、一定の期間にわたり、また特定の信頼区間内で、金利、通貨および市場価格の変動によってファンドの純資産価額のポジションに影響を及ぼし得る潜在的な損失額を見積もるために用いられるリスク・モデルです。

責任事業体は、リスクの測定および管理に際して、VaR 分析および/またはトラッキング・エラーによる見積りを用いています。これらの手法を利用する根拠は、一般的に利用され、理解されているモデルであること、また解釈が容易であり、さまざまな種類、資産クラスおよびファンドの種類を問わずに一貫性を保てるためです。当財務書類では、VaR 分析を表示しています。すべてのケースにおける見積りの目的は、潜在的な損失を見積り、下振れリスクを管理することです。

以下の表は、金利、通貨および価格リスクのエクスポージャーに関連した VaR モデルのアウトプットを要約したものです。VaR 数値の合計は、異なるリスク・ファクターの相関性を含めていないことから、個々のリスク要因の合算とは相違します。

責任事業体は、ファンドの総価額に関連する VaR を算出しています。この分析では、ファンドを 6 月 30 日から 5 日間保有した場合に、信頼区間 95% 内で、ポートフォリオの価額が下表の数値以上に減少しないことを示唆しています。

	2022 年		2021 年	
	千豪ドル <sup>1</sup>	%	千豪ドル <sup>1</sup>	%
ポートフォリオリスクの合計	10,251	3.74	11,138	3.81

<sup>1</sup> VaR は、四捨五入する前の受益者に帰属する純資産に基づいて算出されています。

### モデルに関する詳細

資産運用業界で用いられる VaR モデルには、さまざまな種類があります。責任事業体では、ポートフォリオのリスクを評価するにあたって、取引前および取引後に 1 つまたは複数の評価手法を用いており、またファンドの種類に応じてモンテ・カルロ・シミュレーション・モデルを利用しています。モデルは、過去のデータや共分散行列を適宜用いて算出されます。

責任事業体を用いるモデルには、以下の特徴があります。

- VaR は 95% の信頼区間で算出されます。信頼区間にある VaR が、信頼区間内での予想損失最高額を識別します。
- VaR は、5 日間の保有期間で算出されます。5 日という期間は、ポートフォリオ・ポジションを分析する際に用いられる期間と一致させる目的で選択されています。リスクに関するデータは、日次、週次および月次のさまざまな方法で調査されます。
- ポートフォリオの VaR は、個々の資産の独立した VaR の単純な合算値ではありません。ポートフォリオ内の資産間の相関関係も考慮されます。

VaR は有益なリスク管理ツールではありますが、すべての予測モデルと同様、その仮定や制限を考慮した上で解釈すべきモデルです。主な仮定や制限とは、以下の通りです。

- 一部のモデルは、一定の財務変数が正常に分布されることを前提としています。この正規性の仮定のもとで、責任事業体は適切な信頼区間でポートフォリオのリスクを測定することが可能となります。正規



性の仮定は観測値のサンプル集団をテストする統計分析に由来するものであり、この正規性を前提としないことは、リスク測定の主流である商業用モデルを含めた大部分の統計的な評価手法の利用を妨げることを意味します。

- ・ 過去のリターンおよび資産の相関関係を用いる場合に、将来の潜在的な事象は考慮に入りません。これは、「過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスに関する信頼性のある指標とはなりえません」という文言で通例記載される周知の制限です。
- ・ モデル・リスクとは一般的に、対象データに重要な事象が生じる場合のデータのクオリティまたは精度や、市場外部要因に対するファンド資産の感応度の経年的な変動、またファンドのリスク・ポジションを完全に把握する上で、単一の手法のみを用いた評価は制約になり得るといった既知の制限を指します。

責任事業体はこれらの制限を認識していることから、予想値と実績値を見直すため、取引前と取引後のリスク評価を比較しています。取引後の価額が取引前の予測リターンと著しく乖離する場合、乖離した原因の査定が実施されます。

ファンドのリスクは、業界の投資のプロフェッショナルが絶えずパフォーマンスおよびリスク数の双方をレビューすることで管理されています。これらのレビューは下記の通りに構成されています。

- ・ リスクと定量分析（以下「RQA」）のグローバル・メンバーで週1度の会議。この週次会議にRQA オーストラリアのメンバーも参加。
- ・ RQA およびファンド・マネージャーの月1度の会議。
- ・ RQA および最高投資責任者の月1度の会議。
- ・ 投資リスク管理作業部会（IRMWG）がRQAのプロセスおよび最新情報を逐一把握できるよう、IRMWGへの臨時プレゼンテーション。
- ・ パフォーマンス数値の日次報告書を取引前・後のリターン比較と共にRQA ロンドンに送付。
- ・ RQA 専門職員はファンド・マネージャーと近接する場所で勤務し、日々緊密に連携。

### (c) 信用リスク・エクスポージャー

信用リスクとは、相手方が期限到来時に契約に基づく契約義務の全部または一部を履行できないリスクです。

信用リスクは、主に負債性商品に対してファンドが行う投資および売買目的のデリバティブ商品から生じます。その他の信用リスクは、現金および現金同等物、銀行および他の金融機関への預金、ブローカーに対する債権ならびにその他債権から生じます。これらの資産には、減損しているものも、期日が経過しているが減損していないものもありません。

市場価格は、一般的に信用リスク評価をその査定に組み込んでおり、金融資産および負債は時価評価であることから、その帳簿価額には暗黙的に損失リスクが加味されています。

#### (i) 利付証券

ファンドは利付証券を直接的に保有していません。そのため、ファンドは現金および現金同等物、銀行および他の金融機関への預金、ブローカーに対する債権およびその他債権からのその他の信用リスクにさらされる可能性があります。

#### (ii) デリバティブ

上場デリバティブはすべて、ブローカーを介して実行され、清算機関を通じて清算が行われ、IRMWGによる承認を受けています。店頭デリバティブは、売買契約書が適切であり、特有のファンド要件に該当する承認された取引相手とのみ、取引を行っています。

ファンドは信用リスクを最小限に抑えるため、投資適格レベル(スタンダード&プアーズの格付けでBBB-またはそれ以上)の取引相手とのみ、取引を行います。責任事業体では、取引相手の信用力を評価するプロセスや、リスクが均等に分散されるプロセスを定めています。取引相手に関連して生じた問題は、RQAにより定期的にレビューされています。

#### (iii) 証券取引の決済

すべての取引は、承認されたブローカーを経由した引渡し完了次第、決済/支払が行われます。売却された証券の引渡しは、ブローカーが支払を受領した時点のみで行われるため、債務不履行のリスク(デフォルト・リスク)は最小限であると考えられます。ブローカーが証券を受領した時点で、購入に関する支払が実施されます。当事者のいずれかが債務の支払を履行しなかった場合、その取引は無効となります。

#### (iv) その他の信用リスク

現金および現金同等物ならびに銀行および他の金融機関への預金の信用リスクに対するエクスポージャーは、関連する金融機関が高格付のためにリスクが最小限であると考えられています。VaR分析は、ファンドの信用リスクの管理および測定にも用いられています。

ファンドは、実質的に他の金融資産の信用リスクにさらされていません。

報告日現在の信用リスクに対する最大エクスポージャーは、現金および現金同等物ならびにその他の金融資産の帳簿価額です。

ファンドの証券取引に関する清算および預託業務は、主に1社の取引先、すなわちJPモルガン・チェース・バンク・エヌエー(以下「J.P.モルガン」)に集中しています。J.P.モルガンは主要な証券取引所のメンバーであり、2022年6月30日現在、A-1の信用格付が付与されています(2021年6月30日:A-1)。2022年6月30日現在、現金および現金同等物、ブローカーに対する債権ならびに投資のほぼ全額が、J.P.モルガンにより保護預かりされています。

#### (d) 流動性およびキャッシュ・フロー・リスク

流動性リスクは、ファンドが債務の期日到来時に全額清算できるだけの十分な現金資源を稼得できない、または現金資源の稼得にあたって大幅に不利な条件を受け入れざるを得ないリスクです。財政状態計算書は流動性基準に基づき表示されており、これは注記2(a)において開示されています。

ファンドは、日々生じる解約可能受益証券の現金による解約および日々生じるデリバティブに係る証拠金の支払いの責任を負っています。受益者による解約請求を満たす必要に伴う流動性リスクは、通常のボリュームの解約に十分対応できるだけの流動性を維持し、ファンドの投資活動を活発に取引されかつ流動性の高い有価証券に制限することで軽減されます。また、ファンドは予測および実際のキャッシュ・フローの監視と金融資産および負債の満期構成の管理を継続的に実施しています。責任事業体は、ファンドの投資目的および流動性要件に照らして、ファンドの流動性を検討し、維持しています。先物契約に係る証拠金要件を見直すために、業務上の手続きが実施されています。IRMWGは、ファンドが請求時に投資家への解約金の支払いおよび証拠金の支払いに応じるのに十分な流動性があることを確保するために、流動性報告書をレビューしています。

以下の表は、ファンドの金融負債およびデリバティブ金融商品（必要に応じて）を、報告日現在における契約上の満期日までの残存期間に基づいて関連する満期ごとのグループに分けて分析したものです。表中の金額は、契約上の割引前キャッシュ・フローです。

	1ヵ月未満	1-3ヵ月	3-6ヵ月	6-12ヵ月	1-3年	3年超	合計
	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル
2022年6月30日現在							
<b>負債</b>							
アウトフロー	-	(10)	-	-	-	-	(10)
未払金	(795)	(69)	-	-	-	-	(864)
<b>負債合計</b>	<b>(795)</b>	<b>(79)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(874)</b>

	1ヵ月未満	1-3ヵ月	3-6ヵ月	6-12ヵ月	1-3年	3年超	合計
	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル
2021年6月30日現在							
<b>負債</b>							
未払金	(77)	(70)	-	-	-	-	(147)
<b>負債合計</b>	<b>(77)</b>	<b>(70)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(147)</b>

#### (e) 金融資産および負債の公正価値

各報告期間末日現在のファンドの資産および負債の帳簿価額は、公正価値に近似しています。

損益を通じて公正価値で保有される金融資産および負債は、公正価値で当初測定されます。損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債の取引費用は、直ちに費用計上されます。当初認識後、損益を通じて公正価値で保有されるすべての金融商品は公正価値で測定され、その公正価値の変動は損益およびその他の包括利益計算書で認識されます。

その他の未収金および未払金の減損引当金控除後の帳簿価額は、公正価値に近似すると推定されます。開示目的のため、金融負債の公正価値は、類似の金融商品についてファンドが利用可能である現在の市場金利で契約上の将来キャッシュ・フローを割り引くことにより見積られます。

##### (i) 活発な市場における公正価値

活発な市場で取引される金融資産および負債の公正価値は、報告期間末日現在の最終取引価格（将来の見積売却費用控除額を除く）に基づいています。

ファンドは、注記2(b)に記載されている会計方針に準じて投資を評価します。ファンドは、ほとんどの投資について、当該投資の評価に関して独立した価格情報提供会社が提供する情報に依拠しています。

ファンドが保有する金融資産および金融負債に使用される市場価格は最終取引価格です。最終取引価格が呼び値スプレッド内でない場合、責任事業体は評価を実施し、公正価値を最もよく表す適切な評価価格を決定します。

金融商品は、市場価格が、取引所、ディーラー、ブローカー、業界グループ、価格情報提供会社または規制当局から容易にかつ定期的に入手可能である場合、活発な市場における市場価格としてみなされ、当該価格は、実際の定期的な独立企業間市場取引であることを表します。

##### (ii) 活発でない市場または非上場における公正価値

活発な市場で取引されていない金融資産および負債の公正価値は、評価技法を用いて決定されます。これらには、直近の独立企業間市場取引の利用、実質的に類似するその他の商品の現在の公正価値を参照



すること、ディスカウント・キャッシュ・フロー技法、オプション・プライシング・モデル、または実際の市場取引で入手する価格の信頼性の高い見積を提供するその他の評価技法が含まれます。

ディスカウント・キャッシュ・フロー技法が利用される場合、将来の見積りキャッシュ・フローはマネジメントの最善の見積りに基づき、また、使用する割引率は、条件が類似する金融商品に適用される報告期間末日現在の市場レートです。

その他の価格モデルに関して、インプットは報告期間末日現在の市場データに基づきます。相場価格がつかない株式投資の公正価値は、（もし可能であれば）発行者の特有の状況を反映するために調整された類似の上場会社に適用される価格／利益率を用いて見積られます。

取引所で取引されないデリバティブの公正価値は、報告期間末日において、現在の市況（ボラティリティおよび適切なイールド・カーブ）および取引相手方の現在の信用価値を考慮した上で、契約終了時にファンドが授受するであろう金額に見積られます。為替予約取引の公正価値は、評価日における適切な市場レートで割引かれた将来の見積りキャッシュ・フローの正味現在価値で算定されます。

その他の非上場のユニット・トラストに対する投資は、当該ファンドの責任事業体により報告された基準価額で計上されます。

#### (f) 公正価値ヒエラルキー

ファンドは、測定の際に使用されるインプットの主観性を反映する公正価値ヒエラルキーを用いて公正価値測定を分類します。公正価値ヒエラルキーには、以下のレベルがあります。

- ・ 同一の資産または負債の活発な市場における市場価格（未調整）（レベル1）
- ・ 資産または負債について、直接的に観測可能なインプット（すなわち価格そのもの）または間接的に観測可能なインプット（すなわち価格から派生するもの）のうち、レベル1に含まれる市場価格以外のインプット（レベル2）
- ・ 資産または負債について、観測可能な市場データに基づかないインプット（すなわち観測不能なインプット）（レベル3）

全体としての公正価値測定が分類される公正価値ヒエラルキーのレベルは、全体としての公正価値測定に重要なインプットのうち最も低いレベルに基づいています。この目的のため、インプットの重要性は、全体としての公正価値測定に対して評価されます。公正価値測定で観測可能なインプットを使用しても、観測不能なインプットに基づく重要な調整を必要とする場合には、当該測定はレベル3の測定です。全体としての公正価値測定に対する特定のインプットの重要性を評価するには、当該資産または負債に特有な要素を考慮し、判断が要求されます。

「観測可能」の定義を決定するには、責任事業体による重要な判断が要求されます。責任事業体は、観測可能なデータとは、容易に入手可能で、定期的に配付または更新され、信頼性が高く、検証可能で、独自ののではなく、関連市場に積極的に関与している独立した情報源によって提供される市場データであると考えています。

2022年6月30日および2021年6月30日現在の公正価値ヒエラルキーに従って公正価値で測定されたファンドの金融資産および負債（クラス別）は、以下の表の通りです。

2022年6月30日現在	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル
上場持分証券	248,117	-	-	248,117
上場ユニット・トラスト	19,832	-	-	19,832
<b>合計</b>	<b>267,949</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>267,949</b>
<b>金融負債</b>				
先物	10	-	-	10
<b>合計</b>	<b>10</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>10</b>

2021年6月30日現在	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル	千豪ドル
上場持分証券	269,179	-	-	269,179
上場ユニット・トラスト	20,900	-	-	20,900
<b>合計</b>	<b>290,079</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>290,079</b>

価値が活発な市場における市場価格に基づいているためにレベル1に分類される投資には、活発に取引されている上場株式、トラスト、取引所で取引されるデリバティブおよび金融市場証券が含まれます。

活発でないといみなされる市場で取引されているが、市場価格、ディーラーが提供する気配値、もしくは観測可能なインプットによる裏付けのあるその他の価格ソースに基づき評価されている金融商品は、レベル2に分類されます。これらは、投資適格社債、一部の上場株式、一部の非上場ユニット・トラストおよび店頭取引デリバティブ等が含まれます。レベル2の投資には、活発な市場で取引されていない、譲渡制限を受けているまたはその両方のために、評価額が非流動性、非譲渡性またはその両方を反映して調整される可能性のある保有資産が含まれます。評価額は通常、入手可能な市場情報に基づきます。

ファンドの資産および負債のうち2022年6月30日および2021年6月30日現在において、継続的な公正価値測定が行われていないもの（ただし、公正価値の開示は要求されている）は、レベル2に分類されています。報告期間末日現在、これらの資産および負債の帳簿価額はその公正価値と同額です。

レベル2に分類される投資は、割引上場株式です。

レベル3に分類される投資は、取引の頻度が低いために著しく観測不能なインプットを含んでいます。これらの有価証券について観測可能な価格が入手できない場合、責任事業体は公正価値を算出するために評価技法を使用します。レベル3に分類される投資には、頻繁に取引されない外部の価格ソースを用いて評価された株式が含まれるため、価格の正確さには一定の主観性が伴います。

2022年6月30日終了年度において、iシェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETFはレベル3の商品を保有していませんでした（2021年6月30日：ゼロ）。

2022年6月30日終了年度にiシェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETFにおいて継続的に公正価値で測定されているもので、レベル間の振替はありませんでした（2021年6月30日：ゼロ）。

#### (g) 金融資産および金融負債の相殺

金融資産および負債は、総額ベースで財政状態計算書に計上されます。ファンドは2022年6月30日終了年度において、デリバティブ商品を保有していませんでした（2021年6月30日：ゼロ）。

#### (h) COVID-19の流行

COVID-19として知られる新型コロナウイルスによる感染性呼吸器疾患は、過去2年間にわたり、社会のあらゆる側面に深刻な影響を及ぼしてきました。先進国では、その影響が最悪の時期を脱したとの見方が強まっていますが、渡航制限、入国地やその他の場所での健康診断の強化、医療サービスの準備や提供における混乱や遅延、キャンセル、サプライチェーンの混乱および消費者需要の低下などにより、今後も困難が続くと予想されます。現在、大規模なワクチン接種プログラムが多くの国で実施され、プラス効果をもたらしていますが、COVID-19の影響は、世界経済全体にわたって多くの国の経済にマイナス影響を及ぼし続けており、この影響は、特定の新興国市場などワクチン接種率が低い地域で大きくなる可能性があります。時期の予測は困難ですが、COVID-19の経済的影響は、ウイルス自体がパンデミックから特定地域の疾患に移行した後もしばらく続くと予想され、その結果、ファンドが保有する投資に引き続き影響を与える可能性があります。

#### 4. 損益を通じて公正価値で保有される金融商品に係る純利益／（損失）

損益を通じて公正価値で保有される金融資産および金融負債に関連して認識される純利益／（損失）は以下の通りです。

	2022年6月30日 終了年度 千豪ドル	2021年6月30日 終了年度 千豪ドル
損益を通じて公正価値で保有される金融資産および負債に係る純利益／（損失）（為替差益／（損）を含む）	(35,074)	41,705
	<u>(35,074)</u>	<u>41,705</u>

#### 5. 受益者への分配金

当年度／期間における分配金は、以下の通りです。

	2022年6月30日終了年度		2021年6月30日終了年度	
	千豪ドル	CPU	千豪ドル	CPU
支払分配金－第4四半期*	1,912	9.29	1,213	5.29
支払分配金－第1四半期	8,180	39.55	4,988	24.18
支払分配金－第2四半期	499	2.36	691	3.35
未払分配金－第3四半期	4,730	22.17	4,625	22.39
	<u>15,321</u>		<u>11,517</u>	

\* 2021年6月30日終了年度および2020年6月30日終了年度の分配金に関するものであり、分配落ち日はそれぞれ2021年7月1日および2020年7月1日でした。

## 6. 受益者に帰属する純資産

AASB 第 132 号「金融商品：表示」では、金融負債の定義を満たすブット可能金融商品は、一定の厳格な基準が満たされた場合に、資本への分類が求められます。ファンドは、金融商品がすべての特徴を有しかつ条件を満たす日より、金融商品を資本性金融商品として分類するものとします。詳細については、注記 2(d)をご参照ください。

ファンドは AASB 第 132 号に定められた基準を満たしており、受益者に帰属する純資産は資本に分類されています。詳細については、注記 2(d)をご参照ください。

ファンドの約款に規定されている通り、各受益証券はファンドの個々の持分に対する権利を表していますが、ファンドの投資対象資産に対する権利には及びません。受益証券に個別クラスはなく、各受益証券にはファンドの他のすべての受益証券と同一の権利が付されています。受益証券の設定および解約は、受益者の選択により、設定／解約時のファンドの純資産価額に基づいた価格（取引費用控除後）で行われます。

当年度／期間における受益証券数および受益者に帰属する純資産の変動は、以下の通りです。

	2022年6月30日 終了年度 受益証券 千口	2021年6月30日 終了年度 受益証券 千口	2022年6月30日 終了年度 帰属純資産 千豪ドル	2021年6月30日 終了年度 帰属純資産 千豪ドル
期首残高	20,577	22,919	292,347	279,496
当期利益／(損失)	-	-	(15,696)	53,268
設定	1,500	600	20,326	8,097
解約	(600)	(3,000)	(8,595)	(37,725)
分配金の再投資に係る発行 済受益証券	77	58	1,039	728
支払分配金および未払分配 金	-	-	(15,321)	(11,517)
<b>期末残高</b>	<b>21,554</b>	<b>20,577</b>	<b>274,100</b>	<b>292,347</b>

### 資本リスク管理

ファンドは受益者に帰属する純資産を資本として管理しています。受益者の裁量により日次で設定および解約が行われるため、受益者に帰属する純資産の金額は、日次基準で大きく変動する可能性があります。

ファンドは、ファンドの流動性資産に関して日次の設定および解約の水準について監視しています。2022年6月30日現在、ファンドの資本は、受益者に帰属する純資産の表に示されています。

ファンドの約款では、大規模な解約があった場合、解約請求に応じるために約款上規定している最大日数を超えない範囲において、通常の解約の日数よりも支払いが遅延することを認めています。さらに、市場混乱等の一部の状況下においては、最大日数を超えて支払いが遅延することも約款で認めています。

## 7. 損益を通じて公正価値で保有される金融資産

	2022年6月30日現在 千豪ドル	2021年6月30日現在 千豪ドル
先物	-	-
上場持分証券	248,117	269,179
上場ユニット・トラスト	19,832	20,900
<b>損益を通じて公正価値で保有される金融資産合計</b>	<b>267,949</b>	<b>290,079</b>

損益を通じて公正価値で保有される金融資産に関するリスク・エクスポージャーの概要は、注記3に記載されています。

## 8. 未収金

	2022年6月30日現在 千豪ドル	2021年6月30日現在 千豪ドル
決済に係る未収金	5,801	535
未収配当金／未収分配金	397	388
その他の未収金	16	15
<b>合計</b>	<b>6,214</b>	<b>938</b>

2022年6月30日現在、上記の未収金に期日経過（ただし、減損していない）または貸倒引当金は含まれていません（2021年6月30日現在：ゼロ）。

## 9. 損益を通じて公正価値で保有される金融負債

	2022年6月30日現在 千豪ドル	2021年6月30日現在 千豪ドル
先物	10	-
<b>損益を通じて公正価値で保有される金融負債合計</b>	<b>10</b>	<b>-</b>

損益を通じて公正価値で保有される金融負債に関するリスク・エクスポージャーの概要は、注記3に記載されています。

## 10. 未払金

	2022年6月30日現在 千豪ドル	2021年6月30日現在 千豪ドル
決済に係る未払金	718	-
未払管理報酬	143	142
未払保管報酬	3	-
その他の未払金	-	5
<b>合計</b>	<b>864</b>	<b>147</b>

## 11. 関係会社との取引

### 責任事業体

i シェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF の責任事業体は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント（オーストラリア）リミテッド（ABN 13 006 165 975, AFSL 230523）であり、その最終持株会社はブラックロック・インクです。

ブラックロック・インベストメント・マネジメント（オーストラリア）リミテッドは豪州法人であり、ブラックロック・インクは米国法人です。

### 主要な経営陣

#### 取締役

主要な経営陣は、当年度中に責任事業体の取締役であった以下の人物を含みます。

取締役	就任日	退任日
M S McCorry	2009年12月2日	
A Telfer	2013年12月12日	2021年10月11日
J Collins	2015年7月29日	
A Landman	2020年2月3日	
I Davila	2020年3月5日	

#### その他の主要な経営陣

当年度中において直接的または間接的にファンドの活動を計画、運営および管理する権限と責任を有していたその他の人物はいませんでした（2021年6月30日：ゼロ）。

#### 主要な経営陣の受益証券の保有

2022年6月30日現在、主要な経営陣は、ファンドの受益証券を保有していませんでした（2021年6月30日：ゼロ）。

#### 主要な経営陣の報酬

主要な経営陣は、責任事業体によって支払いを受けます。ファンドから責任事業体への支払いには、主要な経営陣への報酬に帰属するいかなる金額も含まれていません。

#### 主要な経営陣の貸付金の開示

ファンドは、主要な経営陣または主要な経営陣が個人的に関係する事業体に対して、直接的か間接的にかかわらず、保証または抵当による貸付を当報告期間のいかなる時においても実施していません。

## 責任事業体報酬およびその他の取引

ファンドの約款に従い、責任事業体にはファンドへのサービス提供による報酬を受け取る権利があります。

<b>2022年6月30日現在</b>	<b>管理報酬</b>
iシェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF	<b>豪ドル</b>
	<b>868,433</b>

<b>2021年6月30日現在</b>	<b>管理報酬</b>
iシェアーズ S&P/ASX 好配当株式 ETF	<b>豪ドル</b>
	<b>818,679</b>

## 投資

当報告年度中、ファンドは、責任事業体またはその関係会社が管理するスキームに対する投資を保有していませんでした（2021年6月30日：ゼロ）。

## 関係会社スキームの受益証券保有

責任事業体およびその関係会社は、2022年6月30日現在でファンド内のいかなる受益証券も保有していませんでした（2021年6月30日：ゼロ）。

## ファンドとのその他の取引

本注記において詳細が開示されているものを除き、前年度末以降、いかなる主要な経営陣もファンドと重要な契約を締結しておらず、報告年度末日現在において経営陣の利益を有する重要な契約は存在しませんでした。

## 12. 監査報酬

当年度において、ファンド監査人が提供したサービスに対して支払われたまたは未払いの報酬は、以下の通りです。

	<b>2022年6月30日</b>	<b>2021年6月30日</b>
	<b>終了年度</b>	<b>終了年度</b>
	<b>豪ドル</b>	<b>豪ドル</b>
<b>デロイト トウシュ トーマツ</b>		
財務書類の監査およびレビュー	<b>10,991</b>	10,991
法令の定めにより監査人によって提供された法定保証業務	<b>1,264</b>	1,264
<b>合計</b>	<b>12,255</b>	12,255

監査報酬の支払額または未払額は、責任事業体がファンドから得た報酬より支払われます。



### 13. 利益／（損失）から営業活動による正味キャッシュ・インフロー／（アウトフロー）への調整

	2022年6月30日 終了年度 千豪ドル	2021年6月30日 終了年度 千豪ドル
<b>(a) 営業利益／（損失）から営業活動による正味 キャッシュ・インフロー／（アウトフロー）への調 整</b>		
当期営業利益／（損失）	(15,696)	53,268
損益を通じて公正価値で保有される金融資産および 負債の純（利益）／損失（為替差（益）／損を含む）	35,074	(41,705)
損益を通じて公正価値で保有される金融商品の売却 による収入	91,881	247,056
損益を通じて公正価値で保有される金融商品の購入	(109,308)	(217,538)
未収金およびその他の資産の純変動額	(9)	12
未払金および未払負債の純変動額	(1)	4
<b>営業活動による正味キャッシュ・インフロー／（ア ウトフロー）</b>	<b>1,941</b>	<b>41,097</b>
<b>(b) 現金および現金同等物の内訳</b>		
財政状態計算書へ調整されたキャッシュ・フロー計 算書に表示された期末現金残高：		
現金	768	1,378
<b>現金および現金同等物合計</b>	<b>768</b>	<b>1,378</b>
<b>(c) 非資金的財務活動</b>		
当年度中の分配金再投資計画に基づいた受益証券発 行による分配金支払額		
	1,039	728

（上述の(c)で報告されている通り）各年度の当該金額における変動額は、帰属可能となる（すなわち課税対象となる）時点まで現金決済されないため非資金的財務費用を表しています。

### 14. セグメント情報

ファンドは、S&P/ASX ディビデンド・オポチュニティーズ・インデックスに代表される市場のパフォーマンス（手数料および費用控除前）を投資家に提供する事業のみを行っています。責任事業体は、パフォーマンスの評価およびリソース配分の決定を目的とする最高経営意思決定者（chief operating decision maker）であり、ファンドの保有高およびパフォーマンスが、S&P/ASX ディビデンド・オポチュニティーズ・インデックスに準拠するように確保します。したがって、追加の定性的または定量的開示は要求されていません。

### 15. 報告期間より後に発生した事象

ファンドは、2022年7月4日に、受益証券1口当たり28.78豪セントの最終分配金（6,203,497豪ドル相当）を宣言しました。最終分配金の分配落ち日は2022年7月1日であり、支払日は2022年7月13日でした。



## 16. 偶発資産、偶発債務およびコミットメント

2022年6月30日現在、偶発資産、偶発債務またはコミットメントはありません（2021年6月30日：ゼロ）。

本報告書に記載の「I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移、（1）運用の経過、③ 1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」、「IV. 投資有価証券の主な銘柄」および「V. ファンドの経理状況」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。また、本報告書の円換算額表記にあたって、円未満は四捨五入してありますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。